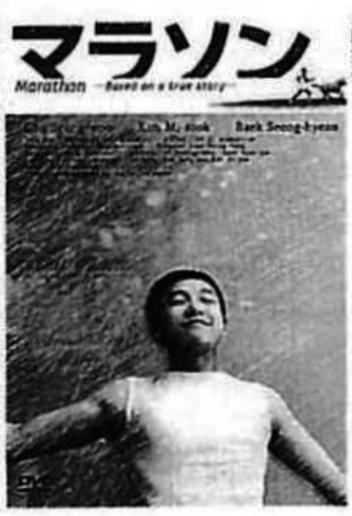


小澤 寛樹 21

今回は本企画初の韓国映画です。マラソンでサブスリー(3時間を切る)を達成した自閉症の子と母の真話に基づく物語です。19歳の青年チョウォンは知的な遅れを伴う自閉症。父親は家を出ており、市営住宅で母キョンスクと弟の3人で暮らしています。母の望みは「息子より一日長く生きる事」。

障害児と親の関係性を考えさせる

「マラソン」(2005)



映画「マラソン」(2005)のポスター

がうまくいきませんが、次第に2人の呼吸が合っていきます。自閉症の特徴は本企画の第2回「レイマン」でも述べましたがコミュニケーションの障害にあります。目を合わさない、こだわりが強いなどの特徴があり、専門家にかかるまで1-2歳で診断がつかず。

「母子分離不安」という言葉があります。例えば、公園で遊んでいる子どもは、初めて砂場遊びで他の子どもと一緒に遊びたいのですが、後ろにいる母親をちらちら見ながら、仲間を探し

- 親子の葛藤に関する映画・ドラマ
- ▽「晩秋」(1989年・米国)
  - ▽「オール・アバウト・マイ・マザー」(1999年・スペイン)
  - ▽「誰も知らない」(2004年・日本)
  - ▽「マラソン(日本版)」(2007年・日本)
  - ▽「海洋天堂」(2010年・中国)

女性にとつてわが子は自分の心身の延長です。たまた、子どもを守っているはずが、実は自分の保身である場合もあります。例えば、教育ママの心理は「自分が厳しく言わないと他人が言ってくれない。だから言いたくない」というものです。です

が、無意識の部分では、子どもの学業がうまくいかないと母親の評価が落ちるといふ不安が隠されている場合があります。「愛」が「支配」に代わり、「保護」が「従順、無抵抗」を導くのです。

薄なのが現状です。映画で、チョン・ウクは母親に言います。「自分で産んだからといって自分のものか」と。もう走らなくていいと言いだした母親に対し、チョウォンは自分自身のために走りたいことを主張します。そして、42・195.3を2時間台で走り抜けてみせるのです。

「分離不安」乗り越え 自立をサポートする

長崎大精神神経科学教室のホームページのアドレスは <http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/psychtry/>